

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.28

第 51 回大会のご案内

第 51 回大会準備委員会委員長 藤井 佐知子

日本比較教育学会第51回大会は、宇都宮大学峰キャンパスで、2015年6月12日（金）～14日（日）の日程で開催させていただくことになりました。前回の名古屋大学と異なり、学会員が3名しかおらず、また大学院生の数も多くありませんので十分なことはできませんが、学会事務局をはじめ学会員の皆さんのお力添えをいただきながら、精一杯皆様をお迎えする準備をさせていただきます。

宇都宮大学は、4つの学部からなる小規模な国立大学でありますので、本学会のような大規模な大会を開催するだけの施設・設備が整っておりません。通常大きな会合が行われる、比較的きれいな大学会館のホールも、席数不足のため使用を断念せざるを得ず、シンポジウム、課題研究とも大教室で行うことといたしました。また、個人研究発表会場となる講義棟はコンパクトな設計になっており、混雑が予想され、皆様にはご不便をおかけすることが多々あるかと思いますが、どうぞご容赦ください。

さて、今年の公開シンポジウムは、本学の国際学部と教育学部が長年共同で行ってきた、地域にねざした外国人児童生徒教育の実践的研究を関係者や地域の方々に広く知っていただくことを念頭に置きつつ、多文化社会における教育の課題について考えていく内容を予定しています。

課題研究Ⅰでは、「大学入試改革を考える」（仮）と題して、目下展開中の日本の大学入試改革について、諸外国の入試改革の動向と照らし合わせながら多角的に分析したいと考えています。また、課題研究Ⅱでは、「災害後のコミュニティ復興と教育の役割」（仮）と題して、東日本大震災後における地域のコミュニティの復旧と復興に対し教育がどのような役割を果たすことができるのかについて、諸外国の事例をふまえて分析する予定です。

一昨年度からスタートしましたウェブ上での参加・発表申し込み、発表要旨登録などは今回も踏襲させていただきたいと思います。また、経費節減のため会員の皆様へのプログラムの郵送についても昨年と同様になしとさせていただき、ウェブ上でアクセスしてダウンロード可能な形式にしたいと存じます。他方、発表要旨集録については例年通りに冊子体で大会当日に配布する予定です。

実り多い第51回大会となりますよう、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

大会準備委員会 連絡先

〒321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学教育学部 上原秀一研究室気付

日本比較教育学会第 51 回大会準備委員会

Tel/Fax: 028-649-5339

E-mail: jces51.utsunomiya@gmail.com

URL: <http://www.gakkai.ne.jp/jces/taikai/51/>

学会科研および震災後プロジェクトについての活動成果報告

前 研究委員会委員長 杉村 美紀

研究委員会では3年間にわたり学会科研ならびに震災後プロジェクトに取り組んできました。以下、その概要をご報告いたします。

1. 学会科研の活動報告

学会科研「人の国際移動と多文化社会の変容に関する比較教育研究」(2011年度～2014年度・基盤研究B)では、海外研究協力者とともにヨーロッパ、南米、日本を含むアジアの3地域拠点を中心とした人の移動の分析、ならびに比較研究モデルの模索という2つの課題を柱に活動を行いました。メンバーによる国内外での事例調査と国内会合のほか、初年度2011年11月には海外研究協力者をオランダ、ドイツ、韓国、中国、オーストラリアから招聘して愛知県豊田市および茨城県水海道市のニューカマーの教育調査とセミナーを、また最終年度の2014年12月には海外招聘者を交えての総括セミナーを開催しました。このほか、2013年11月には、Mark Bray (香港大学) ほか海外の比較教育研究者を招聘し、比較教育学の方法論に関するセミナーを開催しました。本プロジェクトを通じて、人の国際移動には、グローバル化に伴い顕在化する市民社会の枠組みと、引き続き国民国家の枠組みに規定されている重層性と多様性があることが明らかになりました。

2. 震災後プロジェクトの活動報告

2011年3月の東日本大震災の復興に関し、学会員有志によって構成された本プロジェクトは、メンバー個々人の研究調査活動を軸とし、第48回大会(2012年・九州大学)および第49回大会(2013年・上智大学)においてラウンドテーブルを開催し、第50回大会(2014年・名古屋大学)では共同研究発表「災害後のコミュニティ復興と教育の役割—理論と実践の検討—」を行いました。震災復興に関してはさまざまな取り組みがありますが、本プロジェクトでは、1) コミュニティとそれを形成する個々人の絆とネットワーク形成に果たす教育の機能、ならびに2) 海外の事例と比較分析を通じて「元の状態」に戻すことを主とする「復旧」と、「新たな社会システム」の創成を促す「復興」の違いが論点となりました。本プロジェクト自体は2014年度で一度区切りとなりますが、災害後の教育とコミュニティのあり方をめぐって提起された問題の重さと複雑さを考えるとき、今後の比較教育研究のなかで継続発展させていくべき課題であると考えます。

以上のほか、研究委員会では、大会時の「課題研究Ⅱ」において、第48回大会「就学前教育政策の世界的潮流—人生の始まりが今、なぜ問われるのか」、第49回大会「正規・非正規教育の接点(グレイゾーン)に関する国際動向」(国際交流委員会との共同企画)、第50回大会「外国人児童生徒の教育課題—日欧比較—」の企画運営を行いました。3年間の研究委員会の活動に直接ご尽力いただいた先生方、そして研究の上でご協力いただきましたすべてのメンバーの皆様に心よりお礼申し上げます。

【学会事務局からのお知らせ】

大会での学会事務局窓口開設取り止めについて

前号の「お知らせ」欄でお伝えいたしました通り、人員コストの削減等を目的として大会会場での学会事務局窓口開設を原則取り止めることに関して常任理事会で検討を行い、了承されました。今後の会費の納入は原則として郵便振替のみとなりますので、ご了承ください。(事務局)

■各種委員会からの報告とお知らせ

● 紀要編集委員会

委員長 江原 裕美

『比較教育学研究』は、理事会の決定により、発行日に多少柔軟性を持たせることができることになりました。第50号は例年より少し遅く2月10日に発行となり、次回大会では当日配布ではなく、郵送での配布となる見込みですのでご承知おきください。

第50号は記念すべき節目の大会の報告ということで、課題研究と公開シンポジウム各一つを特集しました。優れた研究や報告が多く寄せられ分量が多くなりましたが、東信堂のご好意でページ数に比して割安に仕上げてくださいました。会員の皆様のご意見ご感想をいただければ幸いです。

第51号につきましてはすでに論文投稿を締め切り、形式審査を経て、査読審査を行っています。より良い紀要を目指し編集作業に取り組んでいきます。

第52号への投稿締め切りは、2015年7月20日(当日消印有効)となっています。なお、投稿の宛先をより明確化すべく微修正を行いました。今後、編集委員会へのご連絡、投稿は以下の宛先をお願いいたします。皆様の投稿をお待ちしております。

【原稿提出・連絡先】

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 番地
 帝京大学教職センター内
 日本比較教育学会紀要編集委員会事務局
 Tel : 042-690-8182 (鈴木研究室)
 042-678-3993 (教職センター)
 Fax : 042-678-3116 (教職センター)
 Email : jces.teikyo@gmail.com

● 国際交流委員会

委員長 近藤 孝弘

本委員会では、海外で開催される関連学会大会の情報を収集し、会員の間で広く共有するために学会ウェブサイトに掲載しております。しかしながら委員会の資源は限られておりますので、会員におかれましては、是非ご自身が関係している学会等の大会開催情報をご提供くださいますようお願い申し上げます。連絡先は kokusai.jces@yahoo.co.jp です。積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

● RICE

担当理事 長島 啓記

RICE作成委員会ではRICEへのデータ入力を進めておりますが、会員の皆様ご自身の著作や論文について、データ入力をお願いする次第です。入力の手順ですが、学会のウェブサイトの「学会の活動」からRICEのサイト (<http://jces.sakura.ne.jp/rice/>)へ進んでいただき、「新規文献をRICEに登録する」をクリックしてください。「RICEウェブサイト上から登録」、「データ登録用エクセルシートをダウンロード

して登録」の選択が可能となりますので、いずれかご入力しやすい方をお願いいたします。

ご不明の点がございましたら、RICE作成委員会 (rice.jces@gmail.com) までお問い合わせください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

● 教育関連学会連絡協議会

担当理事 江原 裕美

教育関連学会連絡協議会は、約70の加盟学会を教え、引き続き、年1回の総会と公開シンポジウム開催を行っており、政府への政策提言、大型研究計画への参加準備、学会間の交流などへの拡大を目指しています。8月末の第4回運営委員会では、日本学術会議に所属する約800ある人文社会科学分野の学会の連合体を組織する構想が本連絡協議会の佐藤学運営委員長のもとで準備されつつあると報告されました。

今年の公開シンポジウムは、2015年3月14日(土)に学習院大学にて「教師教育の現在と未来」をテーマに開催されます。詳しくは以下のホームページをご覧ください。多くの方の参加をお待ちしております。

(教育関連学会連絡協議会 <http://ed-asso.jp>)

なお、このたび日本比較教育学会の本連絡協議会への代表は江原裕美から窪田眞二常任理事(筑波大学)に変わります。今後ともよろしくお願いいたします。

● WCCES (世界比較教育学会)

担当理事 杉本 均

世界比較教育学会(WCCES)理事会が2014年11月18・19日にスペイン、マドリードのマドリッド自治大学において開催され、杉本が出席いたしました。議事に先立ち、昨年9月に辞任を表明した学会事務局長(SG)、Diane Napier氏に代わり、オーストラリア、University of New EnglandのBrian Denman氏が新事務局長に選出されました。また今回の事務局長辞任の問題に関して、会長との間に意見の相違があったため、中立的な臨時調査委員会を設立することが決定されました。

議事においては、新規加盟学会について、新たにハンガリー教育学会(教育史・比較教育学部門)、ポルトガル教育科学学会(比較教育学部門)、ベネズエラ比較教育学会の3学会の加盟が認められました。また学会の会計報告を3年サイクルとすることが決定されました。次期大会は2016年8月22～26日、中華人民共和国、北京師範大学において開催されることが決定されました。テーマはDialectics in Education, Comparative Perspectivesです。次回理事会は2015年5月6日メキシコ、メキシコシティ、メキシコ国立大学において開催される予定となっております。

なお、WCCES Newsletterに、本学会から50周年記念大会(名古屋大学)の報告を杉本均、西野節男、山田肖子(敬称略)の連名で寄稿いたしました。

■お知らせ

● 新入会員 (2014年9月～2015年2月 入会申し込み順)



ウェブ版では非公開

(2015年2月21日現在の会員数 944人)

● 年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

[郵便振替口座] 00820-6-16161

日本比較教育学会事務局

* ご所属先を通じて納入される方は、入金の際に必ず事務局までご一報くださいますよう、お願い申し上げます。

* 所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。

● 学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚く御礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

- ・岡田泰平『「恩恵の論理」と植民地 アメリカ植民地期フィリピンの教育とその遺制』法政大学出版社、2014年。
- ・北野秋男『ポストドクター—若手研究者養成の現状と課題—』東信堂、2015年。
- ・京免徹雄『フランスの学校教育におけるキャリア教育の成立と展開』風間書房、2015年。
- ・館昭『東京帝国大学の真実—日本近代大学形成の検証と洞察—』東信堂、2015年。
- ・デイヴィッド P・ワイカート (浜野隆訳・解説) 『幼児教育への国際的視座』東信堂、2015年。
- ・戸野塚厚子『スウェーデンの義務教育における「共生」のカリキュラム—“Samlevnad”の理念と展開—』明石書店、2014年。
- ・ネヴィル・ポッスルウェイト (野村真作訳・解説) 『国際学力調査と教育政策』東信堂、2015年。
- ・ネリー・ストロンキスト (結城貴子訳・解説) 『教育におけるジェンダー平等』東信堂、2015年。
- ・ノエル・マクギン、トーマス・ウェルシュ (西村幹子、笹岡雄一訳・解説) 『教育分権化の国際的潮流』東信堂、2015年。
- ・マイケル・ケリー (勝間靖訳・解説) 『HIV/エイズと教育政策』東信堂、2015年。
- ・溝上慎一『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』東信堂、2014年。

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科
日本比較教育学会・京都大学内事務局
Tel/Fax : 075-753-3039
E-mail : jcesjimu@educ.kyoto-u.ac.jp

会員情報、入退会、会費、システム、HPIに関する連絡

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1
第2ユニオンビル4F
(株)ガリレオ東京オフィス学会業務情報化センター内
日本比較教育学会事務局
Tel : 03-5981-9824 Fax : 03-5981-9852
E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp
URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>